

2025年3月期 決算説明資料

証券コード 7715

2025年5月28日



発表のポイント

2025年3月期 連結業績の ポイント	○売上高・営業利益・経常利益・純利益 過去最高を更新 ○圧力計事業における産業機械・プロセス業界向が堅調に推移した結果、前期比 増収・増益。 ○前期好調の半導体業界を中心とした設備投資需要が在庫調整局面となり圧力センサ事業は減収・減益。 ○海外子会社の決算数値の換算レート(現地12月末)が円安となったことにより円換算額が増加
2026年3月期 連結業績予想	○売上高671億円、営業利益68億円、経常利益69億円、親会社株主に帰属する当期純利益51億円
2026年3月期 配当予想	○年間配当金 1株当たり48円(中間配当24円・期末配当24円)を維持 ・2025年3月期は中間・期末それぞれ2円の特別配当を実施
成長戦略 取組施策	○第2次中期経営計画(2023年度～2025年度)最終年度 ・モノづくりのあくなき探求心を礎に、強靱な経営基盤を構築し、社会的課題への貢献と企業価値向上に取り組む

2025年3月期 業績概要

2026年3月期 業績予想

株主還元

成長戦略 取組施策(重点テーマ)

振返りと今後の取組について

連結業績概要

		2024年3月期 実績 (2023.4.1～2024.3.31)	2025年3月期 実績 (2024.4.1～2025.3.31)	前期比	
				増 減	増減率
(百万円)					
売 上 高		67,935	69,544	1,609	2.4%
営 業 利 益		7,150	7,653	502	7.0%
営 業 利 益 率		10.5%	11.0%	0.5%	—
経 常 利 益		7,390	7,575	185	2.5%
経 常 利 益 率		10.9%	10.9%	0.0%	—
親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 当 期 純 利 益		5,409	6,054	644	11.9%
親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 当 期 純 利 益 率		8.0%	8.7%	0.7%	—
為替	ドル（期末）※	141円83銭	158円18銭	11.5% の円安	
	ユーロ（期末）※	157円10銭	164円94銭	5.0% の円安	

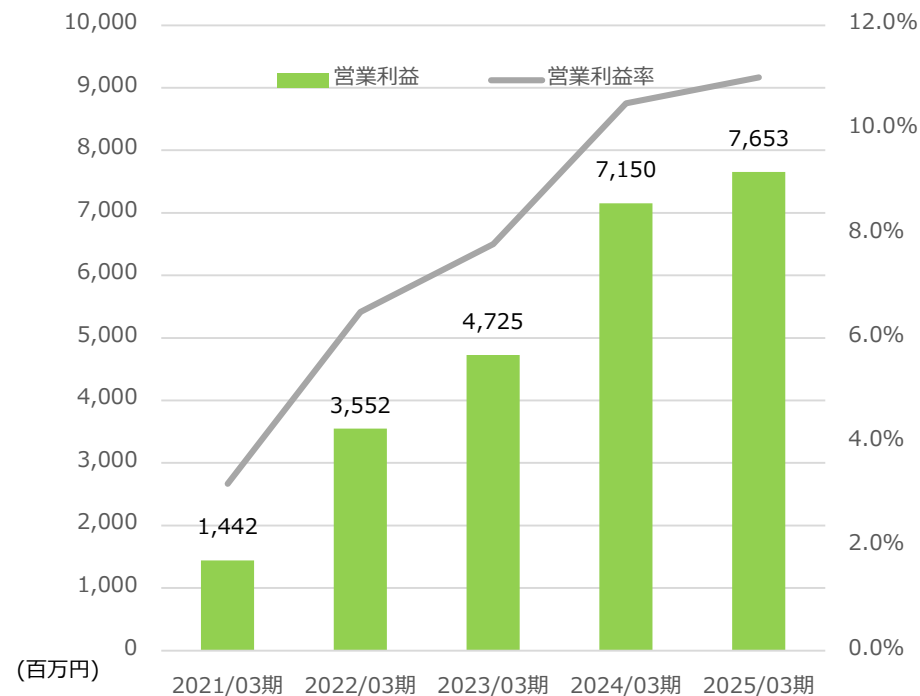
※在外子会社の円換算に使用している12月末レートを表記

通期業績推移 (2021.3月期～2025.3月期)

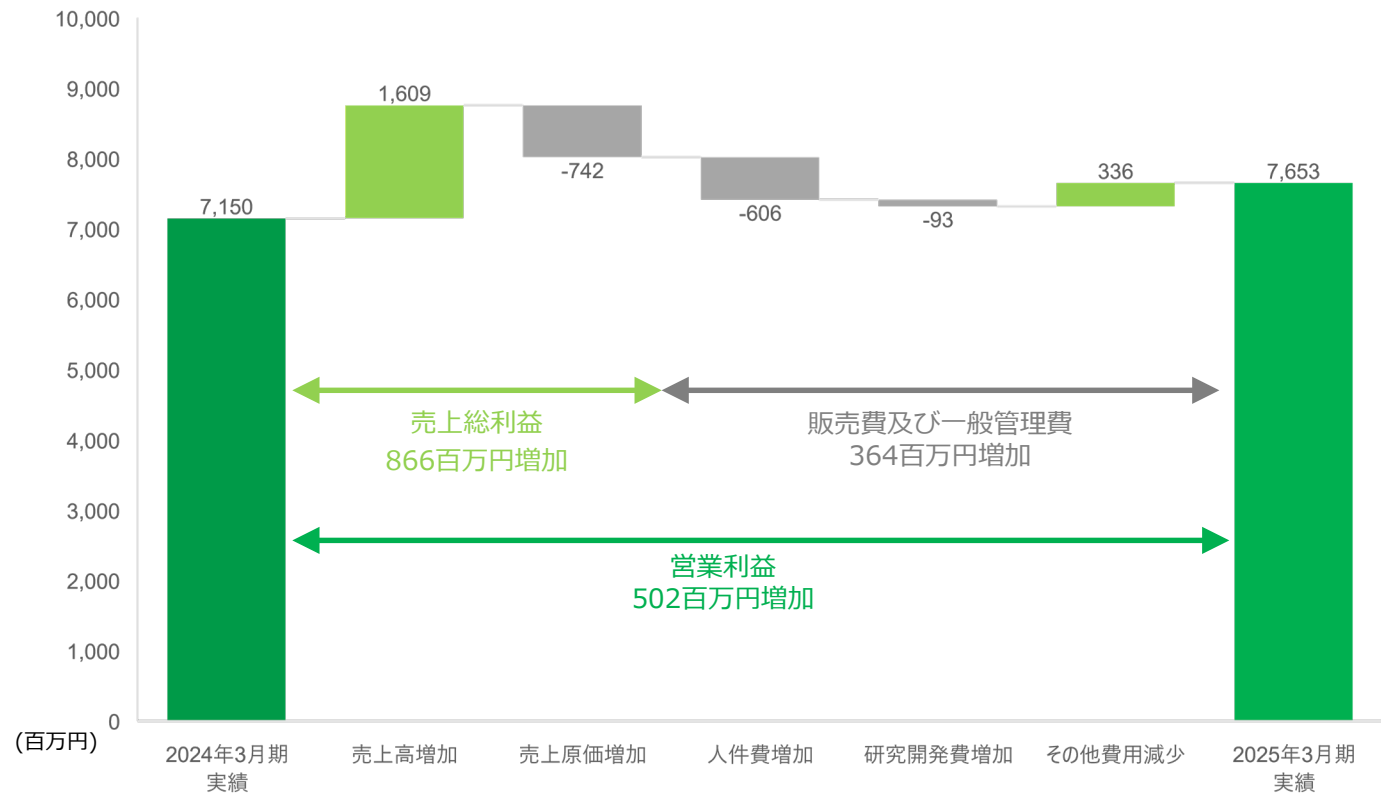
売上高



営業利益・営業利益率



営業利益増減分析（前期比）



素材、原材料の高騰により、売上原価が増加致しましたが、圧力計事業の売上高増加により、増益となりました。

【人件費】
経済発展及び労働市場の変化によりグループ全体における人件費が上昇しました。

【その他の費用】
荷造運賃、減価償却費等、その他の費用は減少しました。

セグメント別業績

		2024年3月期 実績		2025年3月期 実績		前期比	
		金 額	※	金 額	※	増 減	増減率
(百万円)							
売上高	圧 力 計	34,068	50.1%	36,980	53.2%	2,912	8.6%
	圧力センサ	22,666	33.4%	21,366	30.7%	△ 1,299	△ 5.7%
	計測制御機器	4,031	5.9%	4,043	5.8%	12	0.3%
	ダイカスト	5,215	7.7%	5,257	7.6%	41	0.8%
	そ の 他	1,954	2.9%	1,896	2.7%	△ 57	△ 2.9%
	合 計	67,935	100.0%	69,544	100.0%	1,609	2.4%
営業利益	圧 力 計	2,057	6.0%	2,933	7.9%	875	42.6%
	圧力センサ	4,491	19.8%	4,330	20.2%	△ 161	△ 3.6%
	計測制御機器	346	8.6%	299	7.4%	△ 46	△ 13.4%
	ダイカスト	94	1.8%	△ 52	△ 1.0%	△ 146	—
	そ の 他	156	8.0%	136	7.2%	△ 20	△ 13.1%
	調 整 額	3	—	4	—	1	—
	合 計	7,150	10.5%	7,653	11.0%	502	7.0%

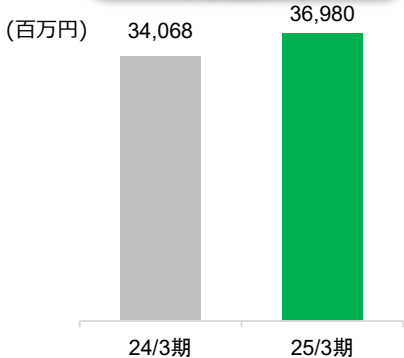
※ 売上高は売上構成比、営業利益はセグメントごとの営業利益率となっております。

業種別売上高

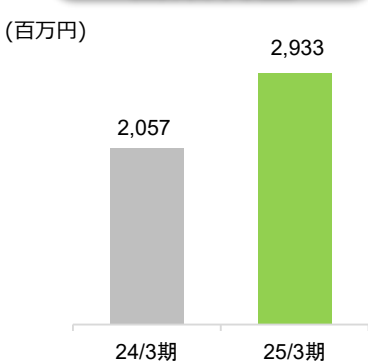
(百万円)		2024年3月期 実績		2025年3月期 実績		前期比	
		金 額	構成比	金 額	構成比	増減	増減率(%)
圧 力 計	産業機械・プロセス	18,040	53.0%	19,821	53.6%	1,781	9.9%
	FA空圧	8,472	24.9%	8,656	23.4%	184	2.2%
	空調管材	2,118	6.2%	2,184	5.9%	66	3.1%
	半導体	3,613	10.6%	4,261	11.5%	648	17.9%
	電子製品	1,825	5.4%	2,057	5.6%	232	12.7%
	計	34,068	100.0%	36,980	100.0%	2,912	8.6%
圧 力 セ ン サ	プロセス・新エネルギー	2,227	9.8%	2,275	10.6%	48	2.2%
	産業機械・設備	6,277	27.7%	6,042	28.3%	△ 235	△3.7%
	空調	539	2.4%	522	2.4%	△ 17	△3.2%
	半導体	8,164	36.0%	7,168	33.5%	△ 996	△12.2%
	量産・車	1,954	8.6%	1,453	6.8%	△ 501	△25.6%
	量産・建設機械	3,505	15.5%	3,904	18.3%	399	11.4%
	計	22,666	100.0%	21,366	100.0%	△ 1,299	△5.7%
計測制御機器		4,031	—	4,043	—	12	0.3%
ダイカスト		5,215	—	5,257	—	41	0.8%
その他		1,954	—	1,896	—	△ 57	△2.9%
合 計		67,935	—	69,544	—	1,609	2.4%

(百万円)	2024年3月期 実績 (2023.4.1～2024.3.31)	2025年3月期 実績 (2024.4.1～2025.3.31)	前期比	
			増 減	増減率
売 上 高	34,068	36,980	2,912	8.6%
営 業 利 益	2,057	2,933	875	42.6%

売上高



営業利益



【前期比 増収・増益】

- 国内では、FA空圧機器業界向けおよび空調・管材業界向けの売上が減少したものの、プロセス業界において保守・メンテナンス需要が増加したことにより、売上が増加いたしました。
また、半導体業界向けの売上が増加いたしました。
- 米国子会社も、産業機械・プロセス業界向けの売が増加し、たことに加え、為替換算レートが円安となったことから、円換算後の売上高は増加いたしました。



セグメント別業績 圧力計

圧力計

圧力センサ

計測制御機器

ダイカスト

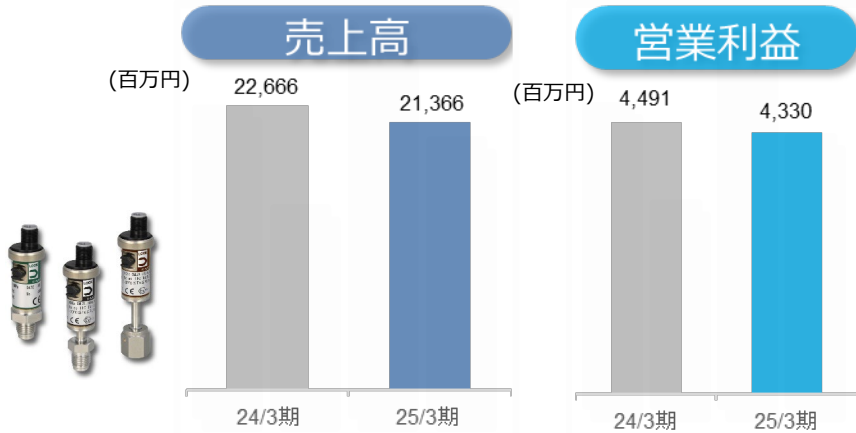
売上高



営業利益・営業利益率



(百万円)	2024年3月期 実績 (2023.4.1～2024.3.31)	2025年3月期 実績 (2024.4.1～2025.3.31)	前期比	
			増 減	増減率
売 上 高	22,666	21,366	△ 1,299	△ 5.7%
営 業 利 益	4,491	4,330	△ 161	△ 3.6%

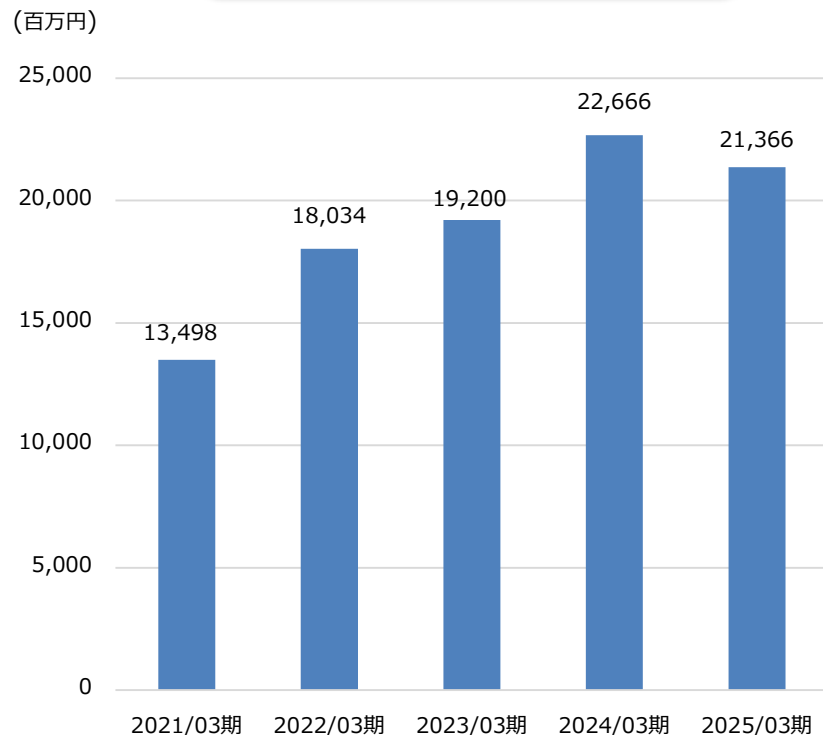


【前期比 減収・減益】

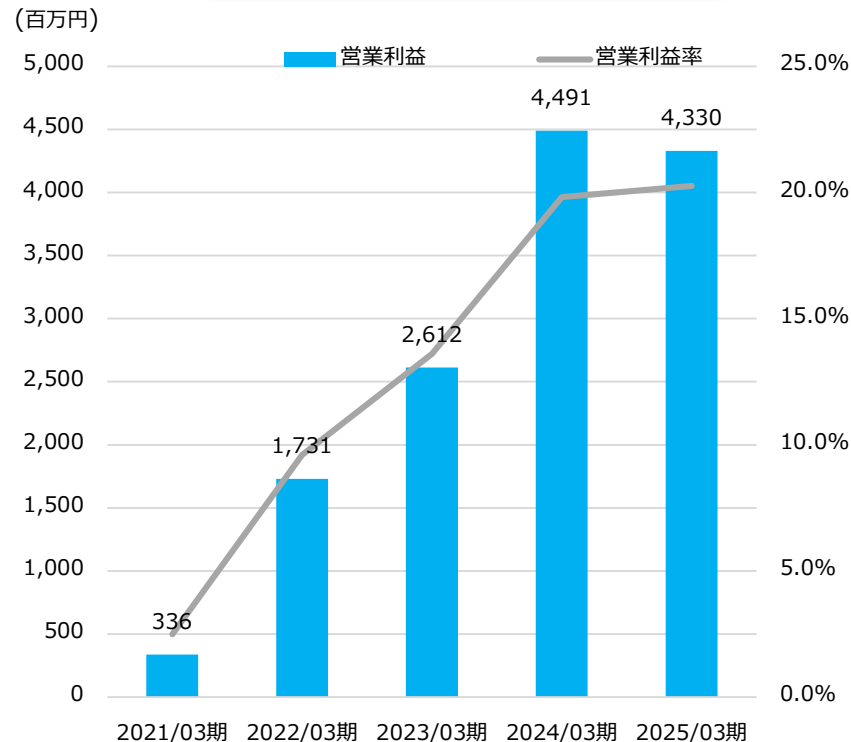
- 国内では、プロセス業界向けおよび建設機械搭載用圧力センサの売上が増加したものの、半導体産業向け、自動車搭載用の売上が減少いたしました。
- 米国子会社では、産業機械向けの売上が減少しましたが、圧力計同様、円安の影響により円換算後の売上高は増加いたしました。



売上高

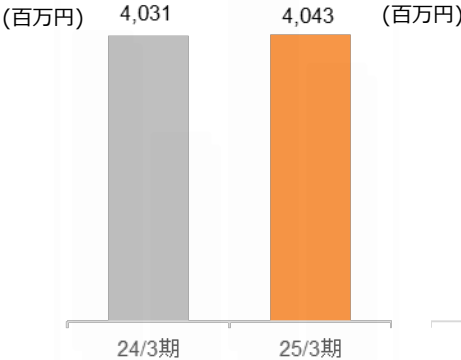


営業利益・営業利益率

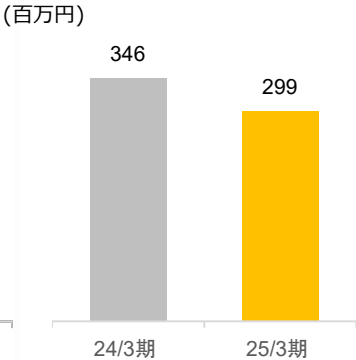


(百万円)	2024年3月期 実績 (2023.4.1～2024.3.31)	2025年3月期 実績 (2024.4.1～2025.3.31)	前期比	
			増 減	増減率
売 上 高	4,031	4,043	12	0.3%
営 業 利 益	346	299	△ 46	△ 13.4%

売上高



営業利益

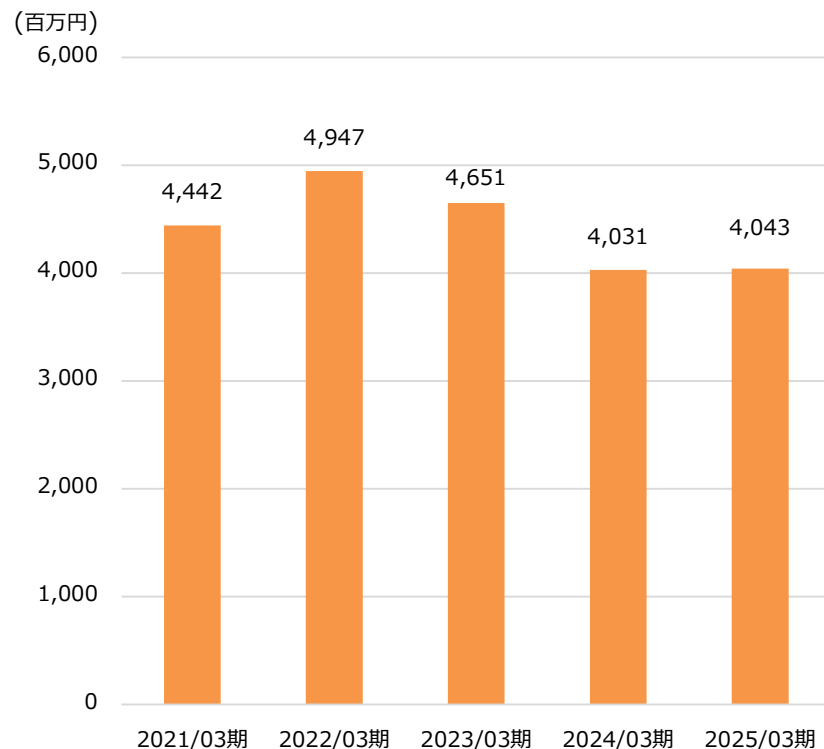


【前期比 増収・減益】

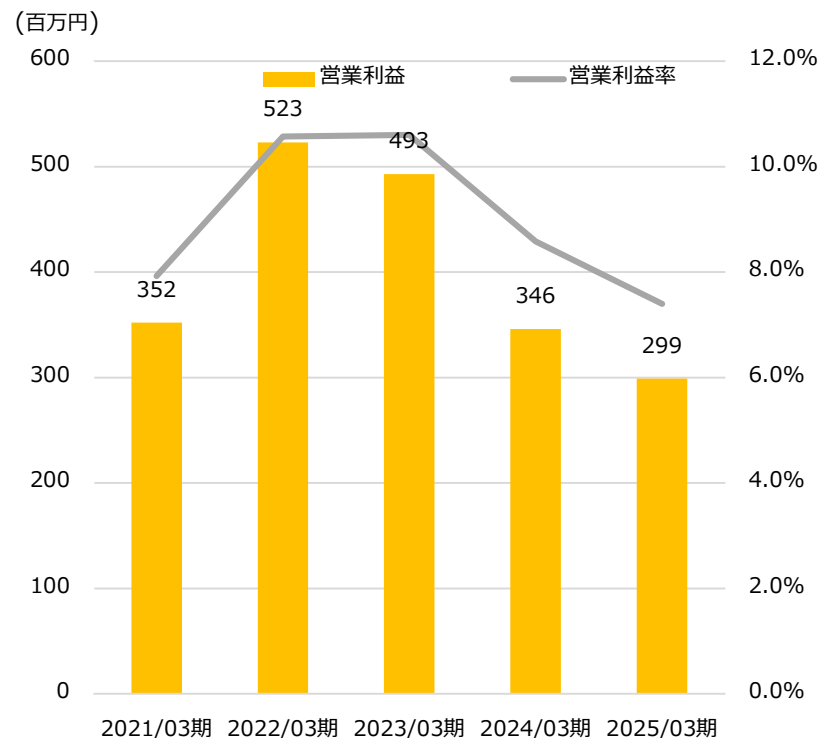
- 生産自動化用の空気圧機器の売上が減少し、自動車・電子部品関連業界向けのエアリークテスターの売上は低調に推移いたしました。
- 医療機器（舌圧計）の売上が増加いたしました。
- 費用面においては、金属材料及び電力等の高騰による影響を受けました。



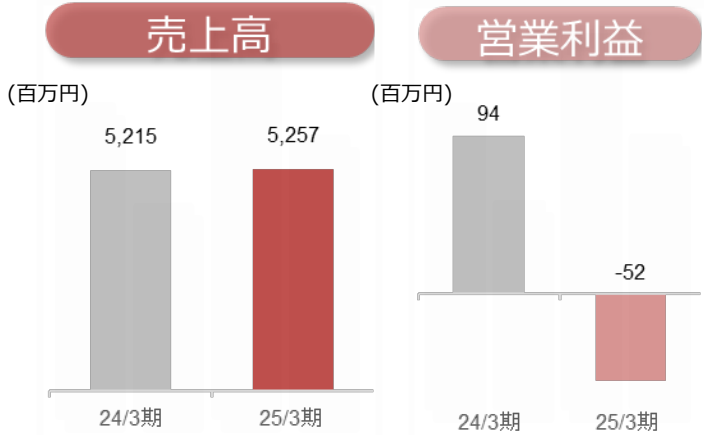
売上高



営業利益・営業利益率

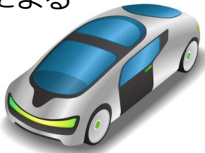
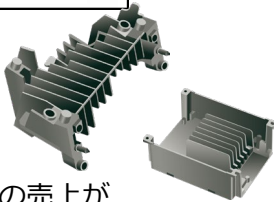


(百万円)	2024年3月期 実績 (2023.4.1～2024.3.31)	2025年3月期 実績 (2024.4.1～2025.3.31)	前期比	
			増 減	増減率
売 上 高	5,215	5,257	41	0.8%
営 業 利 益	94	△ 52	△ 146	—

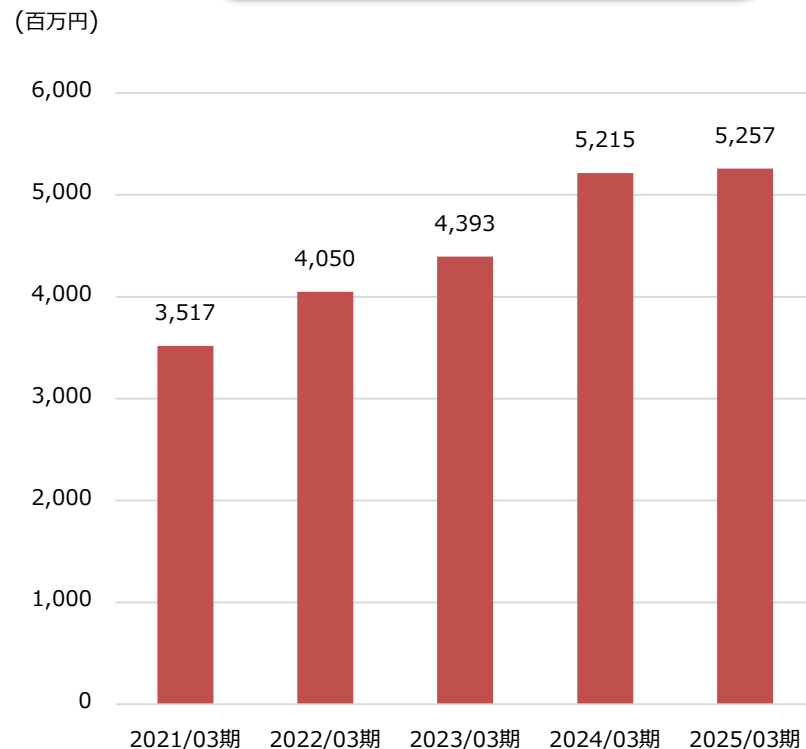


【前期比 増収・減益】

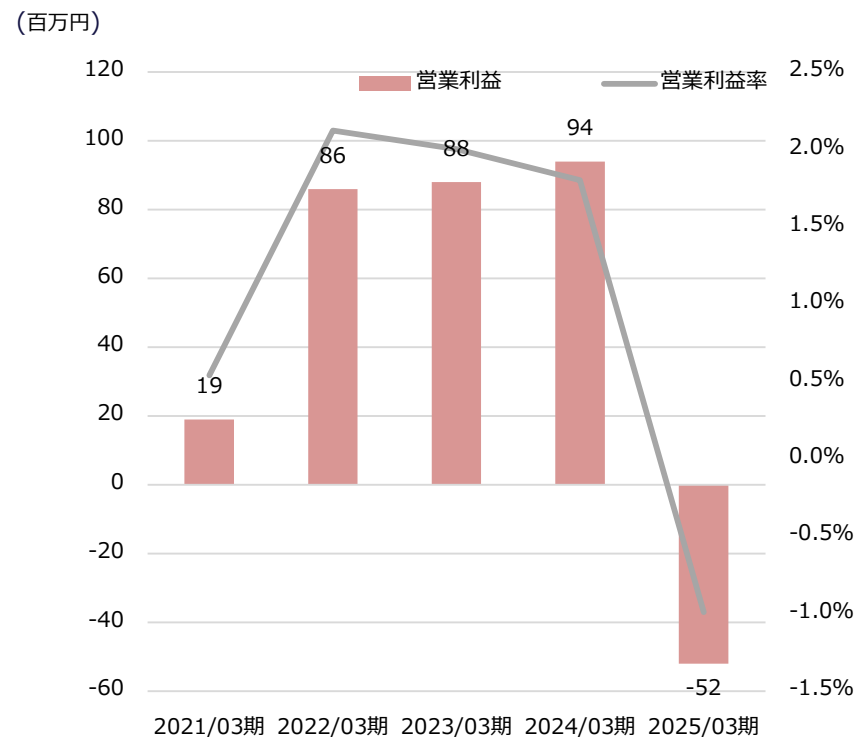
- 自動車業界を主要取引先としているダイカスト製品の売上がほぼ前期並みとなりました。
- 費用面においては、金属材料及び電力料等の価格高騰による影響を受けました。



売上高



営業利益・営業利益率



受注実績・受注残高

(百万円)	受注残高	受注実績	販売実績	受注残高	受注残高	受注残高
	2024.3	2024.4~2025.3	2024.4~2025.3	2025.3	増減	増減率
圧力計	6,630	36,832	36,980	6,481	△ 148	△ 2.2%
圧力センサ	5,368	20,553	21,366	4,555	△ 813	△ 15.1%
計測制御機器	773	4,372	4,043	1,102	328	42.5%
ダイカスト	—	5,257	5,257	—	—	—
その他	591	1,816	1,896	586	△ 5	△ 0.9%
合 計	13,364	68,832	69,544	12,725	△ 638	△ 4.8%

■状 況

【圧力計】

- ・産業機械・プロセス向け（各種プラント）需要が底堅く推移。
- ・F A空圧（OEMを含む）、空調管材及び半導体業界向け（設備機器）の需要は比較的安定した推移であった。

【圧力センサ】

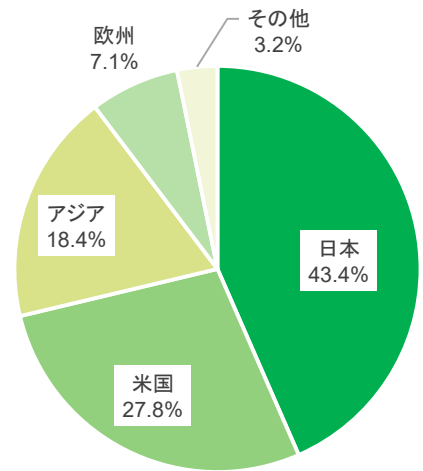
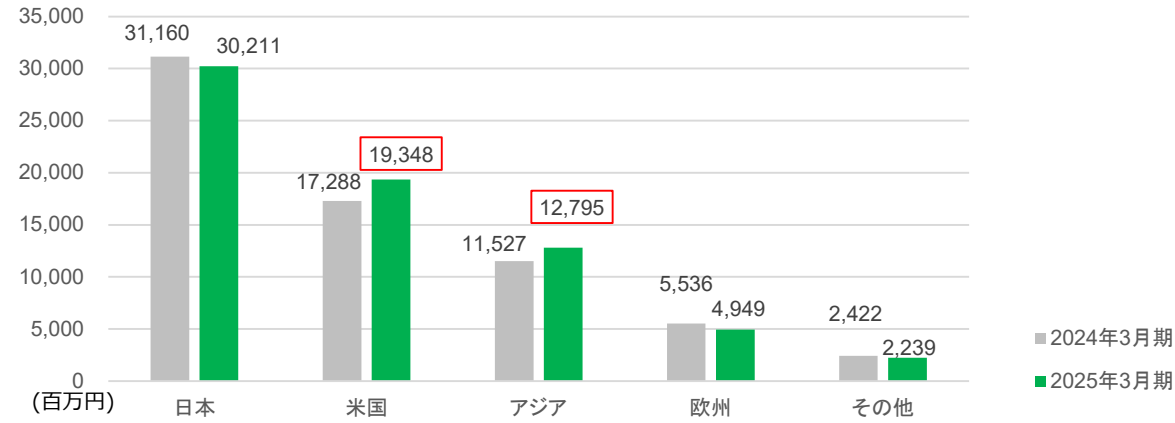
- ・産業機械（油圧を含む）、設備関連の流通在庫が停滞
- ・半導体関連の設備投資及び装置向け需要が減少
- ・全業界に渡り、長期化していた納期遅れが解消

【計測制御機器】

- ・設備投資案件の取込により、産業用エアリークテスターの受注が増加

地域別 売上高の状況

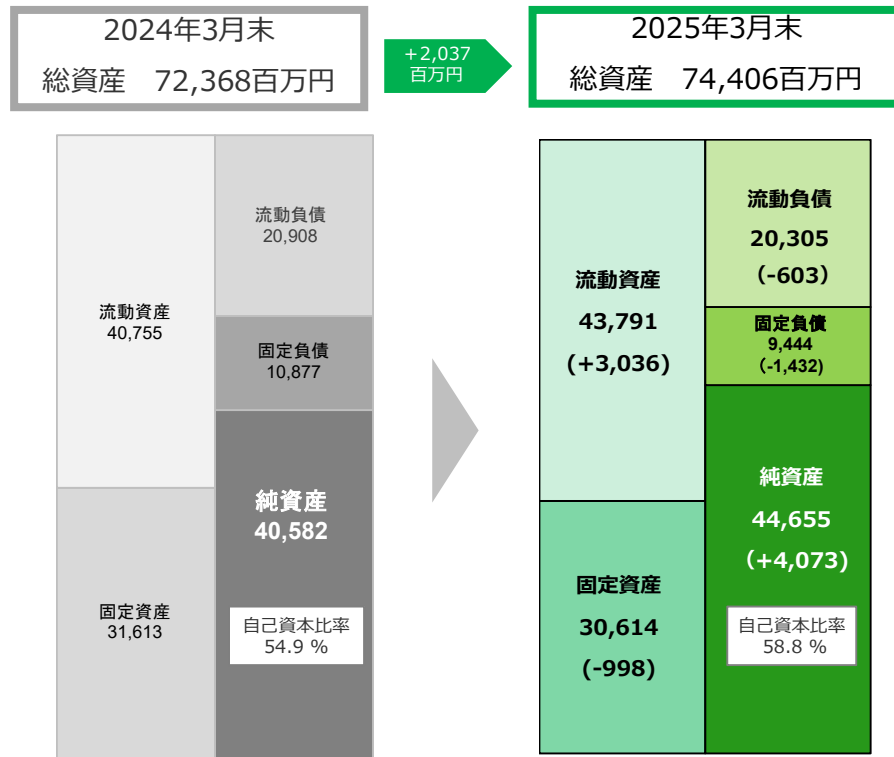
(百万円)	日本	米国	アジア	欧州	その他	合計
2024年3月期	31,160	17,288	11,527	5,536	2,422	67,935
2025年3月期	30,211	19,348	12,795	4,949	2,239	69,544
増減	△ 948	2,059	1,267	△ 586	△ 182	1,609
増減率	△ 3.0%	11.9%	11.0%	△ 10.6%	△ 7.5%	2.4%



- 【前期比】
- 米国・アジア（台湾）の売上高が増加。
 - 日本及び欧州地域においては、景況感の悪化影響もあり売上高は減少した。

連結貸借対照表

	2024年3月期 実績		2025年3月期 実績		前期比
	金 額	割合	金 額	割合	増 減
(百万円)					
流 動 資 産	40,755	56.3%	43,791	58.9%	3,036
固 定 資 産	31,613	43.7%	30,614	41.1%	△ 998
資 産 合 計	72,368	100.0%	74,406	100.0%	2,037
流 動 負 債	20,908	28.9%	20,305	27.3%	△ 603
固 定 負 債	10,877	15.0%	9,444	12.7%	△ 1,432
負 債 合 計	31,786	43.9%	29,750	40.0%	△ 2,035
株 主 資 本	32,935	45.5%	38,105	51.2%	5,169
その他の包括利益累計額	6,830	9.4%	5,677	7.6%	△ 1,153
非 支 配 株 主 持 分	816	1.1%	873	1.2%	57
純 資 産 合 計	40,582	56.1%	44,655	60.0%	4,073
負 債 ・ 純 資 産 合 計	72,368	100.0%	74,406	100.0%	2,037



純資産は、4,073百万円増加、自己資本比率は3.9pt 増加しております。

2025年3月期 業績概要

2026年3月期 業績予想

株主還元

成長戦略 取組施策(重点テーマ)

振返りと今後の取組について

連結業績予想

(百万円)		2025年3月期 実績 (2024.4.1～2025.3.31)	2026年3月期 予想 (2025.4.1～2026.3.31)	前期比	
				増 減	増減率
売 上 高		69,544	67,100	△ 2,444	△ 3.5%
営 業 利 益		7,653	6,800	△ 853	△ 11.1%
営 業 利 益 率		11.0%	10.1%	△ 0.9%	—
経 常 利 益		7,575	6,900	△ 675	△ 8.9%
経 常 利 益 率		10.9%	10.3%	△ 0.6%	—
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益		6,054	5,100	△ 954	△ 15.8%
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益 率		8.7%	7.6%	△ 1.1%	—
為替	ドル（期末）※	158円18銭	145円00銭	—	
	ユーロ（期末）※	164円94銭	155円00銭	—	

※ 2025年3月期通期実績の為替レートは在外子会社の円換算に使用している12月末為替レートを表記

セグメント別業績予想

(百万円)		2025年3月期実績		2026年3月期予想		前期比	
		金 額	※	金 額	※	増 減	増減率
売上高	圧 力 計	36,980	53.2%	34,400	51.3%	△ 2,580	△7.0%
	圧力センサ	21,366	30.7%	20,560	30.6%	△ 806	△3.8%
	計測制御機器	4,043	5.8%	4,760	7.1%	716	17.7%
	ダイカスト	5,257	7.6%	5,500	8.2%	242	4.6%
	そ の 他	1,896	2.7%	1,880	2.8%	△ 16	△0.9%
	合 計	69,544	100.0%	67,100	100.0%	△ 2,444	△3.5%
営業利益	圧 力 計	2,933	7.9%	2,350	6.8%	△ 583	△19.9%
	圧力センサ	4,330	20.2%	3,880	18.9%	△ 450	△10.4%
	計測制御機器	299	7.4%	391	8.2%	91	30.4%
	ダイカスト	△ 52	△1.0%	56	1.0%	108	—
	そ の 他	136	7.2%	123	6.5%	△ 13	△9.6%
	調 整 額	4	—	—	—	—	—
	合 計	7,653	11.0%	6,800	10.1%	△ 853	△11.1%

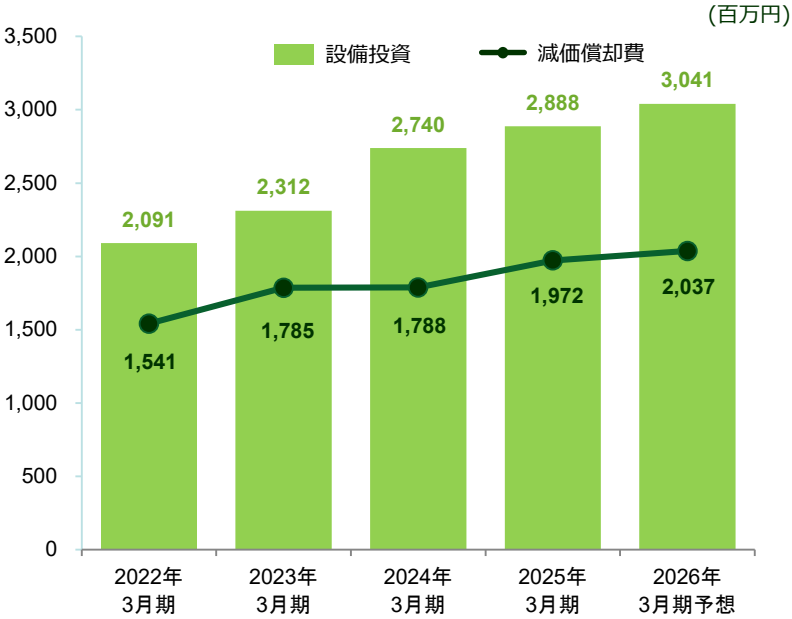
※ 売上高は売上構成比、営業利益はセグメントごとの営業利益率となっております。

業種別 売上高予想

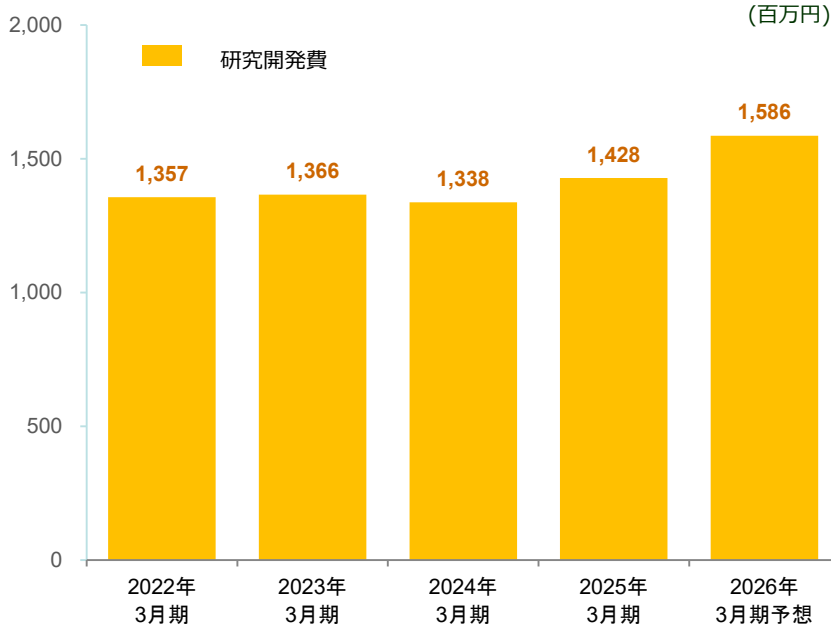
(百万円)		2025年3月期 通期実績		2026年3月期 通期予想		前期比	
		金 額	構成比	金 額	構成比	増減	増減率
圧 力 計	産業機械・プロセス	19,821	53.6%	18,738	54.5%	△ 1,083	△5.5%
	FA空圧	8,656	23.4%	7,949	23.1%	△ 706	△8.2%
	空調管材	2,184	5.9%	2,029	5.9%	△ 154	△7.1%
	半導体	4,261	11.5%	3,596	10.5%	△ 664	△15.6%
	電子製品	2,057	5.6%	2,086	6.1%	28	1.4%
	計	36,980	100.0%	34,400	100.0%	△ 2,580	△7.0%
圧 力 セ ン サ	プロセス・新エネルギー	2,275	10.6%	2,349	11.4%	74	3.3%
	産業機械・設備	6,042	28.3%	6,148	29.9%	106	1.8%
	空調	522	2.4%	523	2.5%	1	0.2%
	半導体	7,168	33.5%	5,908	28.7%	△ 1,260	△17.6%
	量産・車	1,453	6.8%	1,598	7.8%	144	9.9%
	量産・建設機械	3,904	18.3%	4,032	19.6%	127	3.3%
	計	21,366	100.0%	20,560	100.0%	△ 806	△3.8%
計測制御機器		4,043	—	4,760	—	716	17.7%
ダイカスト		5,257	—	5,500	—	242	4.6%
その他		1,896	—	1,880	—	△ 16	△0.9%
合 計		69,544	—	67,100	—	△ 2,444	△3.5%

設備投資・減価償却費・研究開発費の見通し

設備投資・減価償却費



研究開発費



※研究開発費は、一般管理費に含まれるものと、製造費用に含まれるものとの合算となっております。

2025年3月期 業績概要

2026年3月期 業績予想

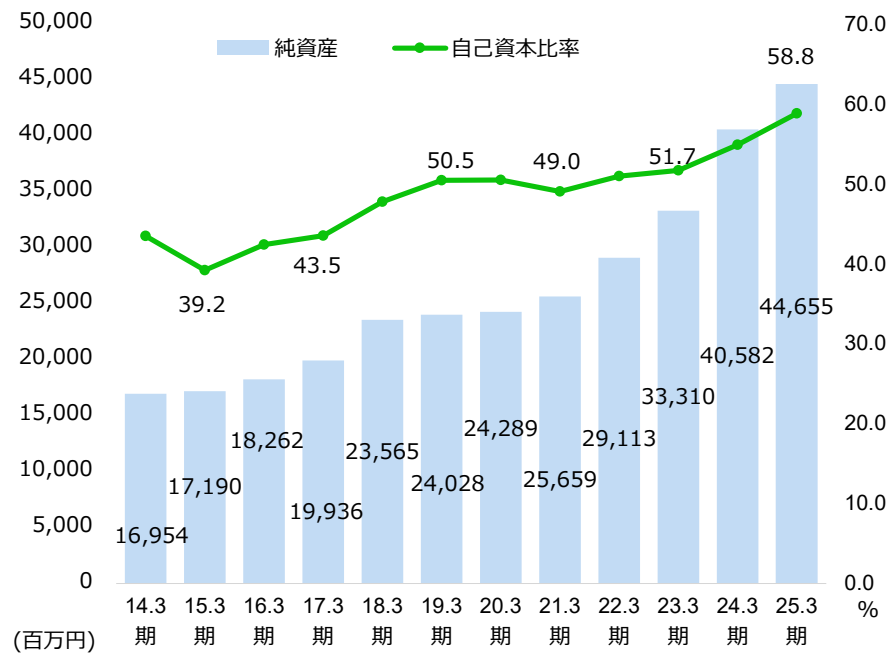
株主還元

成長戦略 取組施策(重点テーマ)

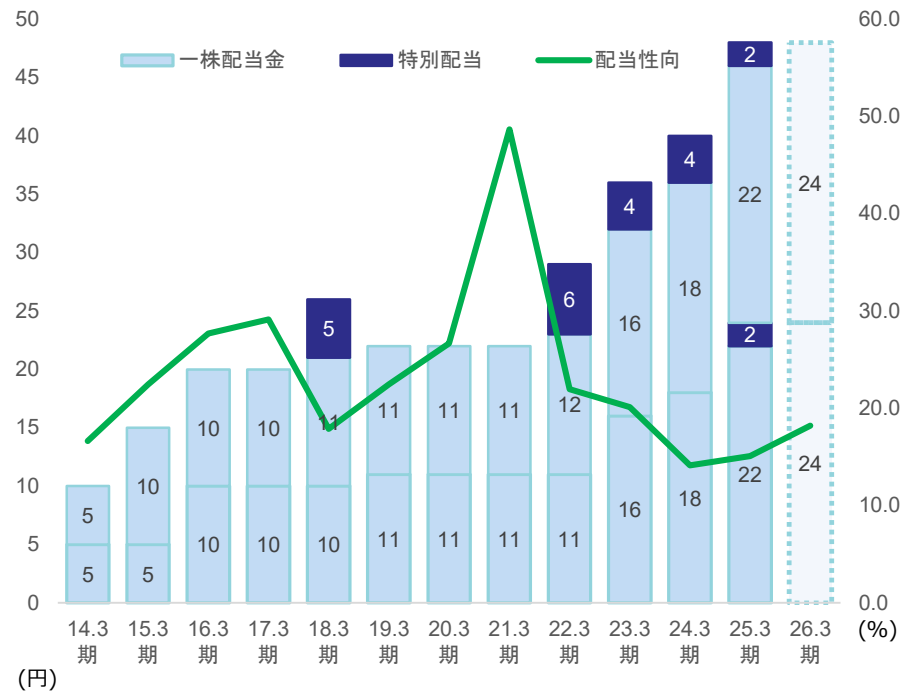
振返りと今後の取組について

財務状況及び配当推移

純資産・自己資本比率



配当金・配当性向



2025年3月期 業績概要

2026年3月期 業績予想

株主還元

成長戦略 取組施策(重点テーマ)

振返りと今後の取組について

第2次 中期経営計画（3力年）の進捗状況（計画比）

(百万円)

	2024年3月期			2025年3月期			2026年3月期		
	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画	実績（見通し）	計画比
売上高	67,800	67,935	100.2%	71,300	69,544	97.5%	75,300	67,100	89.1%
営業利益	6,100	7,150	117.2%	7,900	7,653	96.9%	9,700	6,800	70.1%
営業利益率	9.0%	10.5%	116.7%	11.1%	11.0%	99.1%	12.9%	10.1%	78.3%

2026年3月期 成長戦略 重点施策

成長戦略1：既存事業の競争力強化

- ①生産能力の増強
- ②機種統廃合による製品体系の再構築
- ③不採算製品の撲滅



成長戦略2：グローバル戦略の強化

- ①海外（米国・欧州）半導体市場の踏込強化
- ②地産地消の推進
- ③東南アジア地区攻略



成長戦略3：新たな事業領域の拡大

- ①高精度製品の開発
- ②計測制御機器事業の強化
(圧力発生装置・リークテスタ)
グループ内協業によるシナジー効果の創出



成長戦略 1. 既存事業の競争力強化（圧力センサ事業）

圧力センサ生産能力 増強に向けた 工事が順調に進んでいます。



新建屋 上空より 建屋:約2,600㎡
2025年4月 撮影

長野計器 圧力センサ生産工場
丸子電子機器工場
(長野県上田市)

【主力生産 機種のご紹介】



半導体産業向け
圧力センサ



IO-Link対応
デジタル微差圧計



新建屋 屋内（工事状況）

2025年9月 稼働開始（予定）

上田計測機器工場に分散していた工程を
丸子電子機器工場の敷地内に集約

主力 ステンレス 圧力センサの
「加工⇒研磨」工程を一貫生産

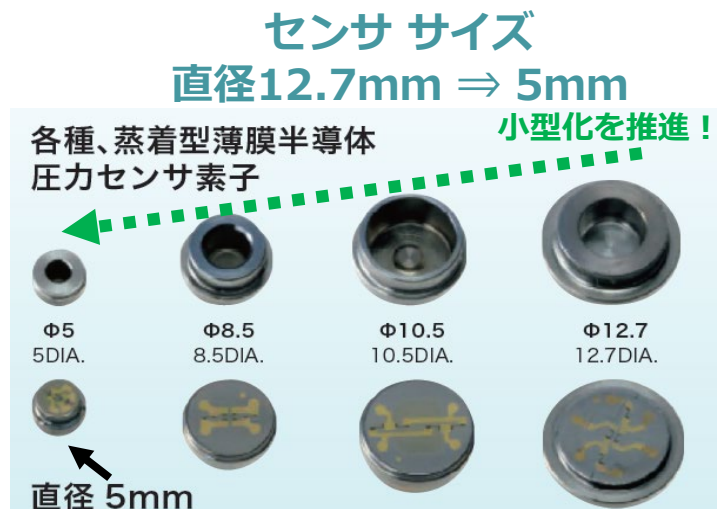
【投資効果】

- ・生産能力増強（120万個／月産）
- ・設備更新（金属加工／研磨設備更新）
- ・生産性の向上

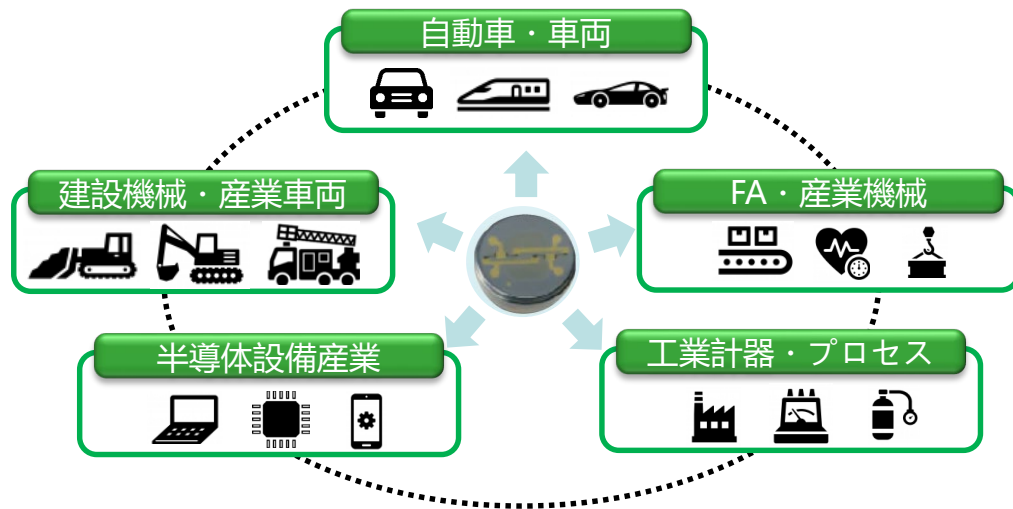


「研磨」以降の「成膜工程」に対する
増強策として、新たな製造装置の
導入も推進してまいります！

圧力センサ素子（コア技術）の小型化 生産能力の強化を推進



1980年の製品化（組込開始）から、改良を重ね
初期モデルに対し、約1/3サイズにコンパクト化
性能も大幅に向上しております！



長野計器の圧力センサは、テクノロジーのコアブランド
として、様々な産業分野で活用されています。

成長戦略 1. 既存事業の競争力強化（圧力計事業／圧力センサ事業）

**さらなる成長を考え、効率的かつ高品質を目指した
生産設備（自動・効率化）の導入を積極的に取組んでまいります！**

各種製品の組立自動化に加え、圧力センサの「成膜工程」の「製造装置 導入」も進めてまいります。

圧力計事業

黄色工程：自動化導入

材料投入 → 接着 → 組立 → 調整 → 検査 → 完成



小形圧力計 新自動生産ライン（FA業界向け）
稼働開始（上田計測機器工場） 23万個／月産

圧力センサ事業

センサ素子 → 溶接 → 組立 → 調整 → 特性検査 → 完成



圧力センサ 新自動生産ライン（建機業界向け）
稼働開始（丸子電子機器工場） 7.5万個／月産

成長戦略 3. 新たな事業領域の拡大（圧力センサ事業）



「光学式」圧力センサの開発を進めています！

第1弾

2023年度
高温圧力計測（溶融樹脂圧）新製品投入

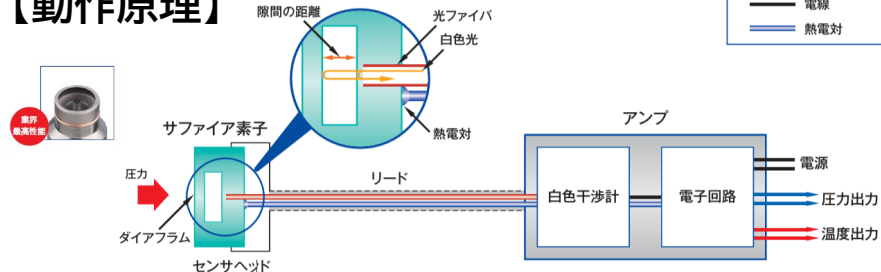
第2弾

2024年度
極低温（液体水素）圧力計測に成功

第3弾

2025年度【NEW】業界初！
耐圧防爆構造 新製品投入（予定）

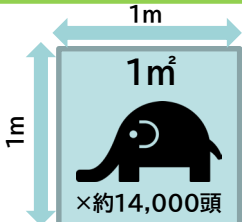
【動作原理】



これまで培ってきた「圧力計測技術」を活かし、従来の電気を利用した圧力計測から、あらたに「光を利用する」計測技術を確立！

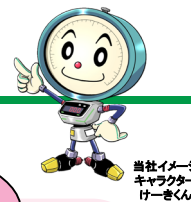
特に高温領域では、従来水銀を利用するのが一般的でしたが、当社は**脱水銀化を実現！**
光学式による圧力計測をご提案してまいります。

産業界における技術革新が進む中で求められる
さらなる高精度化と高付加価値化に、取り組んでまいります。

①計測制御機器 事業の強化（リークテスト） 工業用途における、漏れ検査ニーズは更に高まっており、付加価値ある高精度リーク検査を実現してまいります。 自動車・電動自動車 電気・電子機器 包装容器 医療品・化粧品・食品 住宅設備 油・空圧 防水検査・その他	②微差圧 校正能力の向上（最小不確かさ0.05Pa） 新生児の寝息よりも小さな、ほんの僅かな圧力を計測することは難しく、通常ではほぼ感知できませんが、これを正確に計測することを証明すべく、取り組んでいます。 
③圧力校正範囲の拡大（液体圧力700MPa） より正確な圧力計測を追求すべく、「圧力校正」事業の強化を推進します。（現在の校正範囲は500MPa） ※700MPaは、1㎡の面にゾウ約14,000頭（1頭5トン）の重量に相当します。 	④高精度圧力校正器の開発（業界最高レベル） 「一芸を極めて世界に挑戦」国内最高レベルの高精度圧力標準器の開発を進めています。専門メーカーとして、さらなる高度な圧力計測技術の確立を目指します。 

【校正とは？】 計測器の精度を良好に保ち、測定結果に誤差がなく、信頼できるものであるとするための確認を定期的にチェックすることです。

成長戦略 4. 経営基盤の強化（重点 6 施策）



社会 Society

女性・中核人材等の 多様性確保



- ①女性社外取締役
- ②女性活躍推進PJの立上げ
- ③職場環境の整備

環境 Environment

G H G 削減活動



- ①高効率空調機器の導入
- ②購入電力・A重油の使用量 削減
- ③太陽光発電設備の導入

社会 Society

人事制度の見直し



2024年4月人事制度を刷新
「等級・評価・報酬」の制度を見直し社員の「働きがい」向上を目指す

統治 Governance

役員報酬制度の見直し



2024年6月
取締役に対する
株式報酬の一部を見直し、
業績連動型を導入

統治 Governance

株主・機関投資家との 対話強化



個別取材 対応件数の増加

統治 Governance

グループガバナンス強化



- ①サステナビリティ委員会
- ②指名・報酬委員会を設置
2024年11月 委員長・委員の過半数を
独立社外取締役としたうえで、取締役会
の諮問機関の役割を担う
- ③子会社管理（全従業員面談を実施）

成長戦略 4. 経営基盤の強化（現状と今後の方向性）

資産（1）非事業用資産の圧縮

■2024年度保養施設や社宅・寮など
非事業用資産の見直し（一部売却）

今後も非事業用資産の圧縮を継続

資産（2）政策保有株式縮減

■2024年度
政策保有株式2銘柄を売却

■2025年度以降
政策保有株式の縮減を進める

財務（3）グループ財務の活用

■2023年度グループ内CMSを導入
■国内のグループ企業間における
資金の効率化体制を構築

※CMS（Cash Management System）

本社と子会社を含め、同じ銀行内に口座を作り資金を一元管理

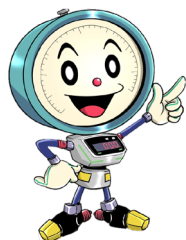
再編（4）グループ企業の効率化

■国内グループ子会社1社を解散（2024年度）
■米国子会社の欧州製造拠点をドイツに集約
■収益力強化と効率性改善に向けたグループ
再編（事業・企業再編）の検討・実施の継続

成長戦略 4. 経営基盤の強化（現状と今後の方向性）

安定的な株主還元の実施を基盤としつつ、
『最新鋭 生産設備の導入』『新工場の建設』など
戦略的な設備投資を積極的に実行してまいります！

生産性の向上・品質の追求・信頼をさらに高め
企業価値の向上に努めてまいります



営業CF等



キャッシュイン



成長投資

- ・経営基盤の強化
（グローバル展開の強化・人材育成・事業成長分野の拡大）
- ・事業の競争力強化
（設備投資、研究開発）

株主還元

- ・安定的な株主還元を実施
- ・累進配当 2026年3月期1株あたり配当金
⇒前年同額の年間48円を予想

財務基盤
強化

- ・事業環境、財務状況、CF状況をもとに総合的に勘案
- ・内部留保の戦略的活用

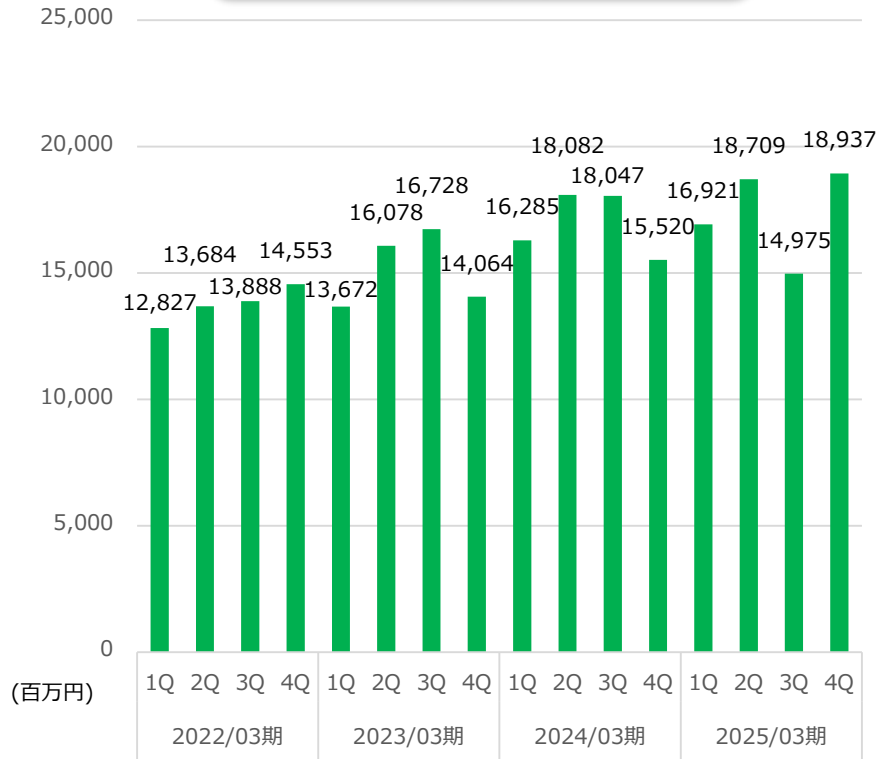
キャッシュアウト

参考資料

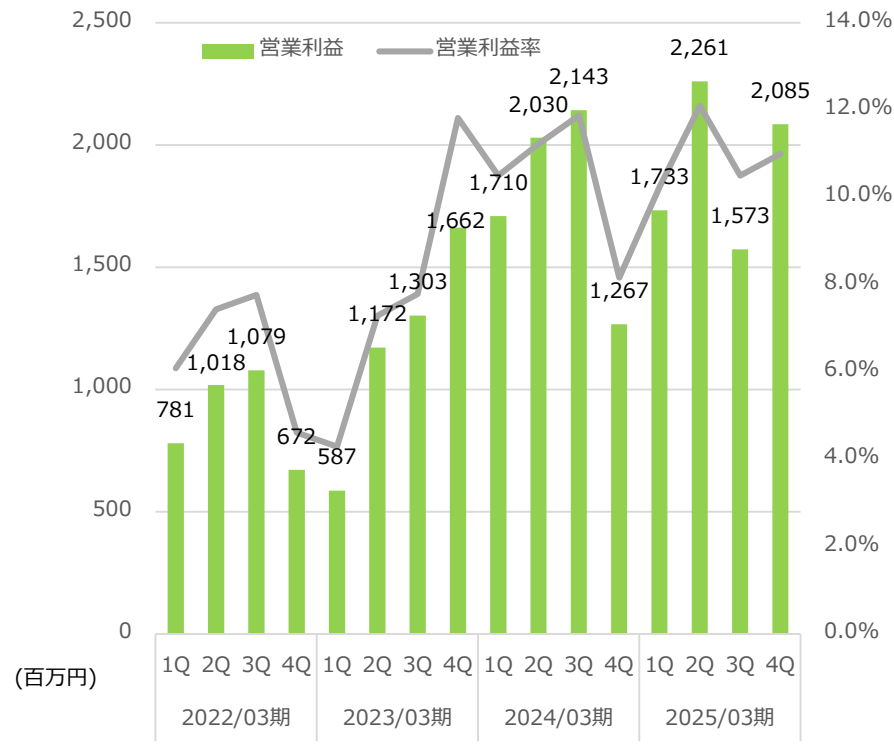
四半期業績推移 (2022.1Q~2025.4Q)

※グラフ値は、四半期毎の売上高・営業利益・営業利益率の推移

売上高



営業利益・営業利益率



■ 創業（1896年）微圧から超高圧までの圧力計を開発・製造・販売、国内シェア60%以上（売上高）

圧力計事業



圧力計

根幹となる
心臓部を
自社開発・内製化
100年を超える
実績と信頼！
幅広い市場ニーズに
的確に対応

圧力計とは？

- 空気や液体の「押す力」を、圧力値として
指針の動きに変換、確認ができる計器。
- 駆動電力を必要とせず、設置するだけで人が
目に見える形で圧力を表示、作業者が簡単
に圧力値を目視確認できる。

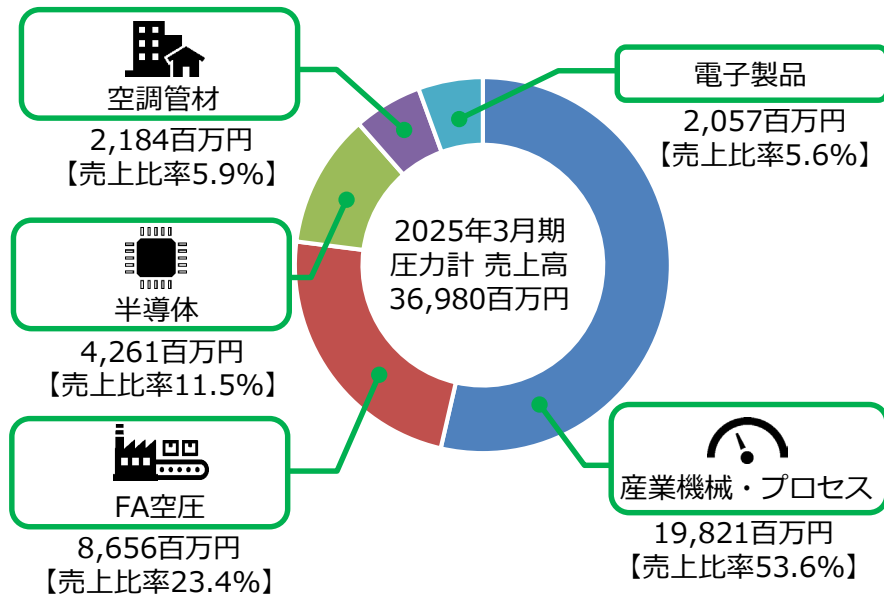


コア技術
(心臓部)

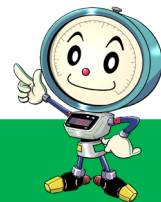
高圧

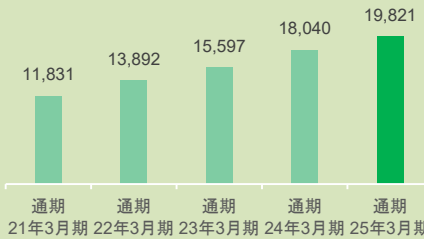
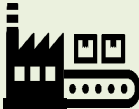
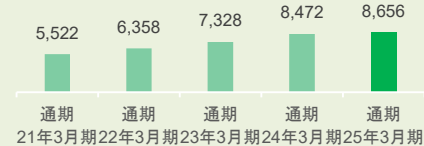
微圧

2025年3月期 圧力計 売上構成比

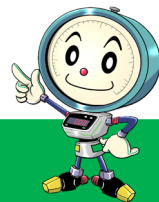


■圧力計事業の業種紹介



業種	主要製品	業種別 業績推移 (売上実績) 【百万円】	用途例	用途説明															
 産業機械・プロセス	 普通形圧力計  隔膜式圧力計	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>通期</th> <th>通期</th> <th>通期</th> <th>通期</th> <th>通期</th> </tr> <tr> <th>21年3月期</th> <th>22年3月期</th> <th>23年3月期</th> <th>24年3月期</th> <th>25年3月期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11,831</td> <td>13,892</td> <td>15,597</td> <td>18,040</td> <td>19,821</td> </tr> </tbody> </table>	通期	通期	通期	通期	通期	21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期	11,831	13,892	15,597	18,040	19,821	●コンプレッサー ●発電所 ●石油精製 ●化学コンビナート ●真空ポンプ ●農業用機械	●化学プラントやコンビナートでは、様々な液体や気体が配管により供給されています。圧力計の設置により、配管の破裂や漏れを未然に防ぎ、施設の安全を確保します。 また、タンクや貯蔵容器内の圧力計測により、残量監視を行うとともに、爆発等の事故リスク低減にも寄与しています。
通期	通期	通期	通期	通期															
21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期															
11,831	13,892	15,597	18,040	19,821															
 FA空圧	 小形圧力計	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>通期</th> <th>通期</th> <th>通期</th> <th>通期</th> <th>通期</th> </tr> <tr> <th>21年3月期</th> <th>22年3月期</th> <th>23年3月期</th> <th>24年3月期</th> <th>25年3月期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5,522</td> <td>6,358</td> <td>7,328</td> <td>8,472</td> <td>8,656</td> </tr> </tbody> </table>	通期	通期	通期	通期	通期	21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期	5,522	6,358	7,328	8,472	8,656	●空圧機器	●自動化された工場の製造ラインでは、機械やロボットが物を運んだり持ち上げたりする際に圧縮空気が用いられます。包装機械や組み立てロボットの空圧システムは規定の圧力で動作する必要があるため、圧力計を使用して圧力を常時監視することが重要です。仮に圧力供給が不安定になると、機械の正確な動作が妨げられ、生産効率に重大な支障をきたす可能性があります。
通期	通期	通期	通期	通期															
21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期															
5,522	6,358	7,328	8,472	8,656															

■圧力計事業の業種紹介



業種	主要製品	業種別 業績推移 (売上実績) 【百万円】	用途例	用途説明															
 空調管材	 微差圧スイッチ 微差圧計	<table border="1"> <thead> <tr> <th>通期</th> <th>通期</th> <th>通期</th> <th>通期</th> <th>通期</th> </tr> <tr> <th>21年3月期</th> <th>22年3月期</th> <th>23年3月期</th> <th>24年3月期</th> <th>25年3月期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,669</td> <td>1,953</td> <td>2,351</td> <td>2,118</td> <td>2,184</td> </tr> </tbody> </table>	通期	通期	通期	通期	通期	21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期	1,669	1,953	2,351	2,118	2,184	●クリーンルーム (半導体・医薬・食品) ●ビル空調	●居住空間の適切な換気を確保するために、空気が通るダクト内の空気量測定が重要視され、適切な風量の確保とフィルターの詰まり検知に微小圧力の計測が必要とされています。 (オフィス・半導体・医薬・食品工場等) - 家庭やビル内の給水においても適切な水压を維持することで、上水の供給はもちろん、配管からの漏水低減にも貢献しています。
通期	通期	通期	通期	通期															
21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期															
1,669	1,953	2,351	2,118	2,184															
 半導体	 半導体産業用圧力計 高耐食圧力計	<table border="1"> <thead> <tr> <th>通期</th> <th>通期</th> <th>通期</th> <th>通期</th> <th>通期</th> </tr> <tr> <th>21年3月期</th> <th>22年3月期</th> <th>23年3月期</th> <th>24年3月期</th> <th>25年3月期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,821</td> <td>2,544</td> <td>3,696</td> <td>3,613</td> <td>4,261</td> </tr> </tbody> </table>	通期	通期	通期	通期	通期	21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期	1,821	2,544	3,696	3,613	4,261	●工場内配管 ●ガス・水・薬液の供給設備	●半導体の製造工程では、「ガス・薬液・純水」を供給する際、圧力計測は必要不可欠です。半導体製造プロセス全体における品質と安定性の向上に繋がります。これは均一なガス供給の確保だけでなく、適切な圧力管理が装置の保護にも繋がります。 - 特に、ガスポンプ等は、残量が目に見えないため、圧力計を用いて残量確認する等、様々な用途でご利用頂いています。
通期	通期	通期	通期	通期															
21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期															
1,821	2,544	3,696	3,613	4,261															

※圧力計事業における「電子製品」は、機械的構造により圧力値を電気信号に変換する製品につき、段階的に圧力センサへの置換えを進めております。

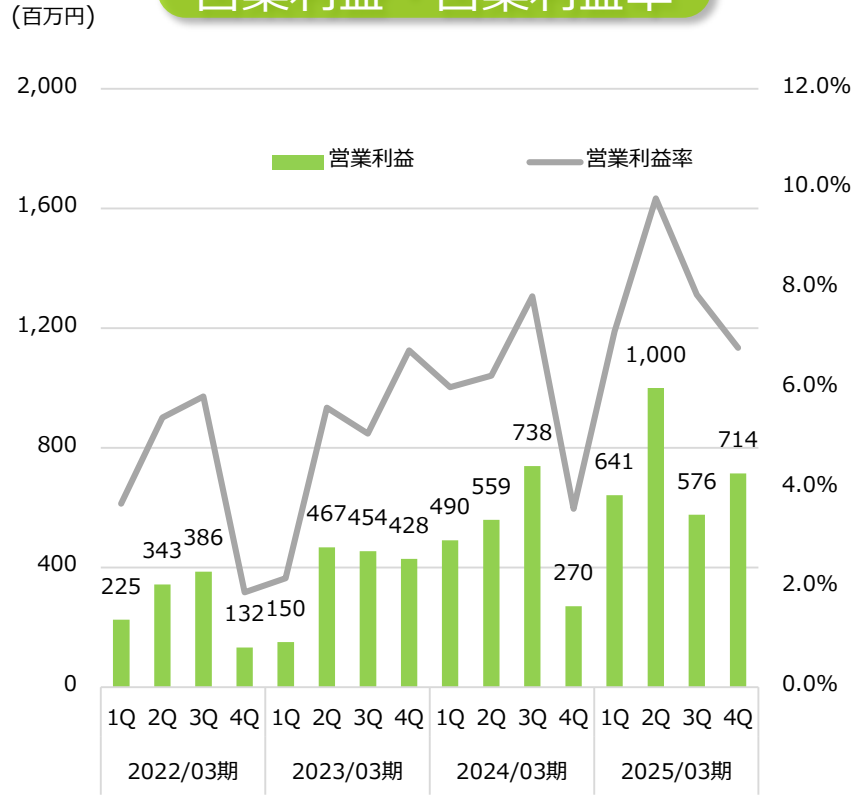
セグメント別業績 圧力計

※グラフ値は、四半期毎の売上高・営業利益・営業利益率の推移

売上高



営業利益・営業利益率



■ 1983年から圧力センサの開発・製造・販売開始。計測値を電気信号に変換、従来の計測から制御へ！

圧力センサ事業



圧力センサ

センサ素子を
自社開発・内製化
圧力値を問わず
少量から量産品に
至るまで幅広い
市場ニーズに対応

圧力センサとは？

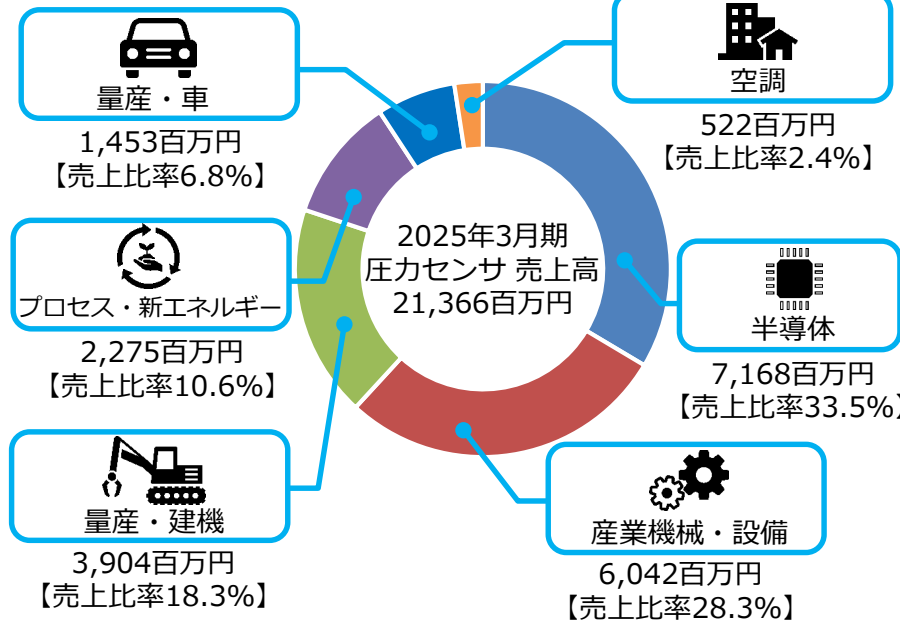
- 空気や液体の「押す力」を電気信号に変換、駆動電力を必要とし、計測データをリアルタイムで監視・制御システムに送信することが可能な計器。
- 昨今では、省人化の観点から設備の自動化が進み、自動制御の精度向上や安全面向上の観点から、搭載数量や需要が増加中。



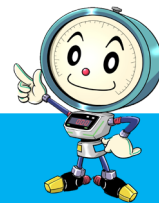
センサ素子
(心臓部)



2025年3月期 圧力センサ 売上構成比

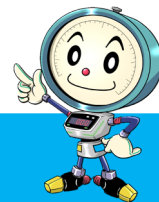


■ 圧力センサ事業の業種紹介



業種	主要製品	業種別 業績推移 (売上実績) 【百万円】	用途例	用途説明															
 プロセス・新エネルギー	 本質安全防爆構造圧力センサ	<table border="1"> <thead> <tr> <th>通期</th> <th>通期</th> <th>通期</th> <th>通期</th> <th>通期</th> </tr> <tr> <th>21年3月期</th> <th>22年3月期</th> <th>23年3月期</th> <th>24年3月期</th> <th>25年3月期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,409</td> <td>1,868</td> <td>2,217</td> <td>2,226</td> <td>2,275</td> </tr> </tbody> </table>	通期	通期	通期	通期	通期	21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期	1,409	1,868	2,217	2,226	2,275	● 水素・アンモニア ● 石油精製	● 水素は高圧下で輸送や貯蔵が行われることが多く、圧力を正確に測定し管理することは、漏洩や爆発のリスクを軽減し、全体的なシステムの安定性を向上させるために不可欠です。圧力センサは、水素の充填、輸送、貯蔵設備において、圧力が安全限度内に保たれているか監視する役割を果たします。これにより、水素エネルギーの安全利用が実現されています。
通期	通期	通期	通期	通期															
21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期															
1,409	1,868	2,217	2,226	2,275															
 産業機械・設備	 産業用圧力センサ	<table border="1"> <thead> <tr> <th>通期</th> <th>通期</th> <th>通期</th> <th>通期</th> <th>通期</th> </tr> <tr> <th>21年3月期</th> <th>22年3月期</th> <th>23年3月期</th> <th>24年3月期</th> <th>25年3月期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3,822</td> <td>5,177</td> <td>5,900</td> <td>6,276</td> <td>6,042</td> </tr> </tbody> </table>	通期	通期	通期	通期	通期	21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期	3,822	5,177	5,900	6,276	6,042	● 工作機械 ● 油空圧機器 ● 射出成型	● 産業機械では、機械やシステム内の流体やガスの圧力を正確に測定し、そのデータを利用して設定条件を微調節することで、製品の一貫した品質維持、全体の運用効率を向上させる目的で圧力センサが活用されています。その結果、製造プロセスの全体的な運用コスト削減にも寄与しています。
通期	通期	通期	通期	通期															
21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期															
3,822	5,177	5,900	6,276	6,042															
 空調	 デジタル微差圧計	<table border="1"> <thead> <tr> <th>通期</th> <th>通期</th> <th>通期</th> <th>通期</th> <th>通期</th> </tr> <tr> <th>21年3月期</th> <th>22年3月期</th> <th>23年3月期</th> <th>24年3月期</th> <th>25年3月期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>330</td> <td>387</td> <td>475</td> <td>538</td> <td>522</td> </tr> </tbody> </table>	通期	通期	通期	通期	通期	21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期	330	387	475	538	522	● ビルの給排水 ● 大型冷暖房 ● クリーンルーム	● 空調機における冷媒の圧力を計測し、空調システムの稼働効率向上、快適な室内環境維持のための監視、エネルギー消費抑制にも繋がっています。 また、クリーンルームでは部屋の圧力を一定に保つことで異物の侵入を防ぐ等、部屋内の清潔度維持にも寄与しています。
通期	通期	通期	通期	通期															
21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期															
330	387	475	538	522															

■ 圧力センサ事業の業種紹介

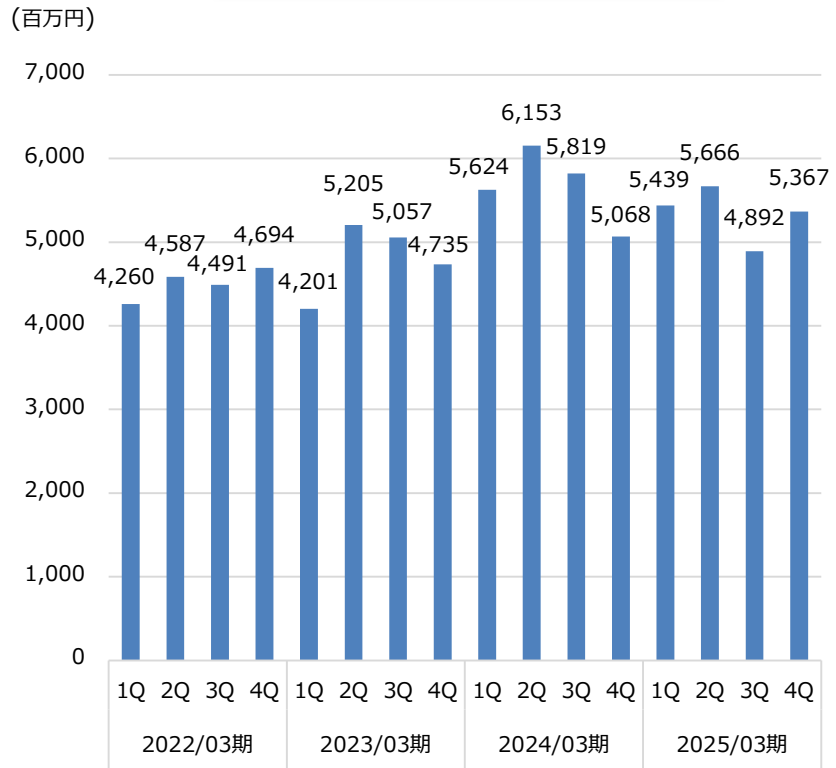


業種	主要製品	業種別 業績推移 (売上実績) 【百万円】	用途例	用途説明															
 半導体	 半導体産業用 圧力センサ 洗浄用 圧力センサ	<table border="1"> <thead> <tr> <th>通期</th> <th>通期</th> <th>通期</th> <th>通期</th> <th>通期</th> </tr> <tr> <th>21年3月期</th> <th>22年3月期</th> <th>23年3月期</th> <th>24年3月期</th> <th>25年3月期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3,060</td> <td>4,302</td> <td>5,765</td> <td>8,164</td> <td>7,168</td> </tr> </tbody> </table>	通期	通期	通期	通期	通期	21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期	3,060	4,302	5,765	8,164	7,168	● エッジング装置 ● 薬液供給装置 ● 洗浄装置 ● シリンダー キャビネット	● 圧力センサは半導体製造装置内のシステムに計測データをリアルタイムに提供することで、「ガス・薬液・水」の調整や監視を自動で行うことが可能になります。これは、半導体の生産効率向上や品質の向上、装置の保護だけでなく、危険なガスや薬液の供給は勿論、漏れ監視にも利用されています。
通期	通期	通期	通期	通期															
21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期															
3,060	4,302	5,765	8,164	7,168															
 量産・車	 車載用圧力センサ	<table border="1"> <thead> <tr> <th>通期</th> <th>通期</th> <th>通期</th> <th>通期</th> <th>通期</th> </tr> <tr> <th>21年3月期</th> <th>22年3月期</th> <th>23年3月期</th> <th>24年3月期</th> <th>25年3月期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,738</td> <td>1,835</td> <td>1,047</td> <td>1,954</td> <td>1,453</td> </tr> </tbody> </table>	通期	通期	通期	通期	通期	21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期	1,738	1,835	1,047	1,954	1,453	● 自動車	● 自動車では、エンジンの燃焼システム、ブレーキ、エアコン等、圧力計測が多数必要とされています。燃料を供給する圧力制御により燃費向上に繋がったりブレーキ制御により自動運転を実現させる等、機能向上に繋がるだけでなく、安全性向上にも寄与しています。
通期	通期	通期	通期	通期															
21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期															
1,738	1,835	1,047	1,954	1,453															
 量産・建機	 建設機械用圧力センサ	<table border="1"> <thead> <tr> <th>通期</th> <th>通期</th> <th>通期</th> <th>通期</th> <th>通期</th> </tr> <tr> <th>21年3月期</th> <th>22年3月期</th> <th>23年3月期</th> <th>24年3月期</th> <th>25年3月期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3,138</td> <td>4,464</td> <td>3,794</td> <td>3,505</td> <td>3,904</td> </tr> </tbody> </table>	通期	通期	通期	通期	通期	21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期	3,138	4,464	3,794	3,505	3,904	● 建設機械	● ショベルカー等の重機における油圧制御は、アームの動きや土の掘削作業の駆動源となります。そのため、圧力センサの搭載は、建設機械の性能向上に関わることとなり、異常な圧力を早期に検出することで、保全だけでなく工期遅延の軽減、より安全で効率的な作業を支えています。
通期	通期	通期	通期	通期															
21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期															
3,138	4,464	3,794	3,505	3,904															

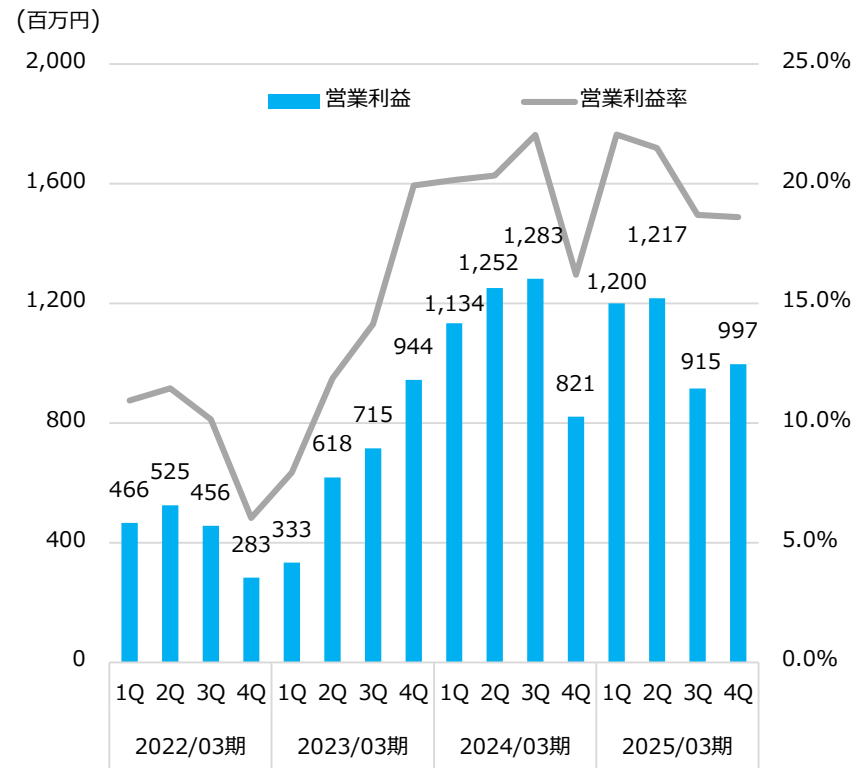
セグメント別業績 圧力センサ

※グラフ値は、四半期毎の売上高・営業利益・営業利益率の推移

売上高



営業利益・営業利益率



■ 正確な圧力を発生させる機器を自社開発、応用製品（装置を含む）を外販する事業

計測制御機器事業

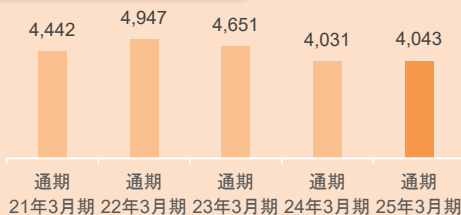


重錘型圧力計（圧力標準機）

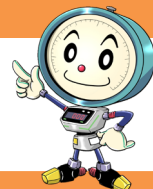
計測制御機器とは？

- 圧力計・圧力センサの検査・校正用として基準となる正確な圧力を発生する装置をはじめ、加圧装置など生産設備に至るまでの機器を提供。
- その他、空気圧機器、リーク検査装置（漏れの確認）等対応。

計測制御機器事業 業績推移（売上実績）【百万円】



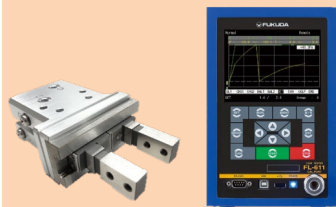
計測制御機器事業の 主要製品紹介



主要製品

用途例

用途説明



エアハンド エアリークテスタ

ヘリウムリーク テストシステム



- 自動車部品
- 電子部品
- 包装容器
- 医療機器
- FA

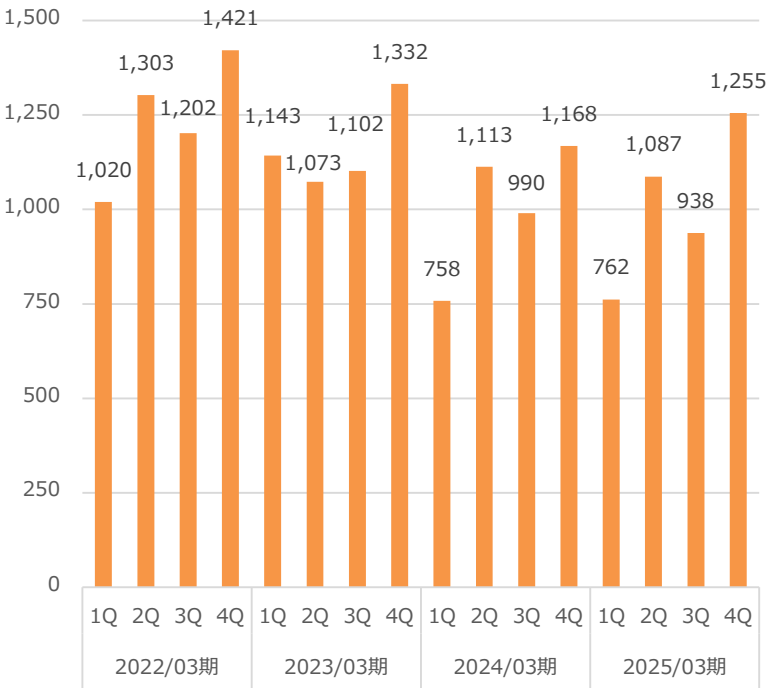
- リークテスタは、自動車業界、電子機器などの部品の密封性を圧力の変動又は、希ガスの流出を検出により、健全性を評価する試験装置です。品質不良を未然に防ぐ目的で使用されます。
- エアハンド等の空気圧機器製品は、ロボットに取り付ける等、産業界における生産設備の自動化及び省人力化に欠かすことのできない機器です。

セグメント別業績 計測制御機器

※グラフ値は、四半期毎の売上高・営業利益・営業利益率の推移

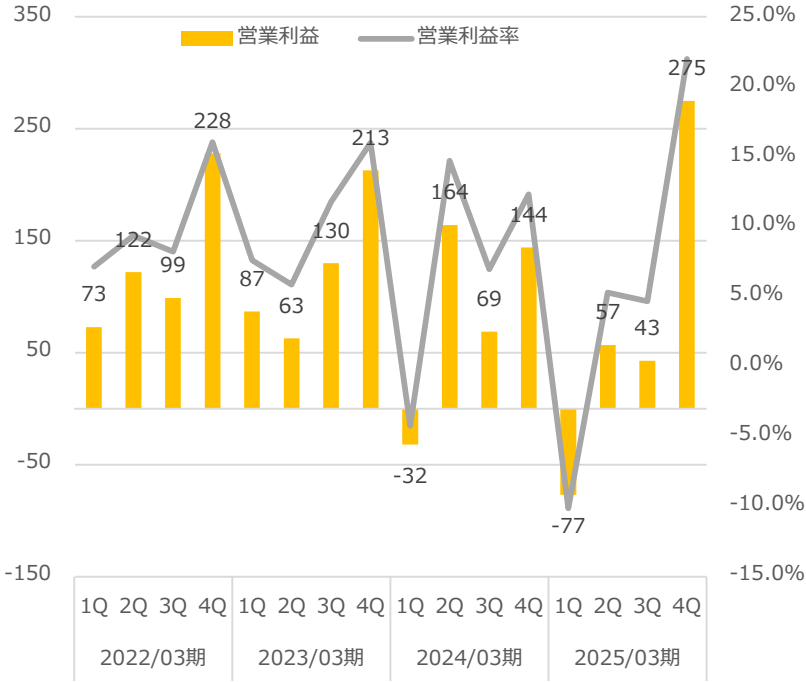
売上高

(百万円)



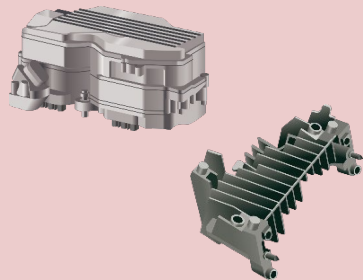
営業利益・営業利益率

(百万円)



■アルミニウムのダイカスト製品を金型から設計・開発・販売

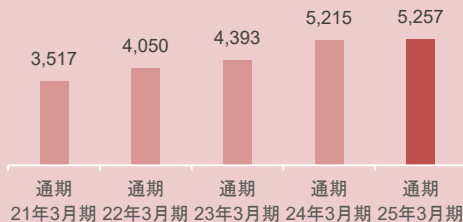
ダイカスト事業



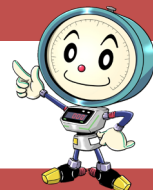
ダイカストとは？

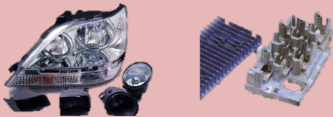
- 自動車関連部品、油・空気圧関係、工業計器、O A・エレクトロニクス関係など様々な分野に製品を供給しています。
- 鋳造から加工、表面处理、検査にいたるまで、自動化設備を積極的に導入しております。

ダイカスト事業 業績推移（売上実績）【百万円】



ダイカスト事業の 主要製品紹介

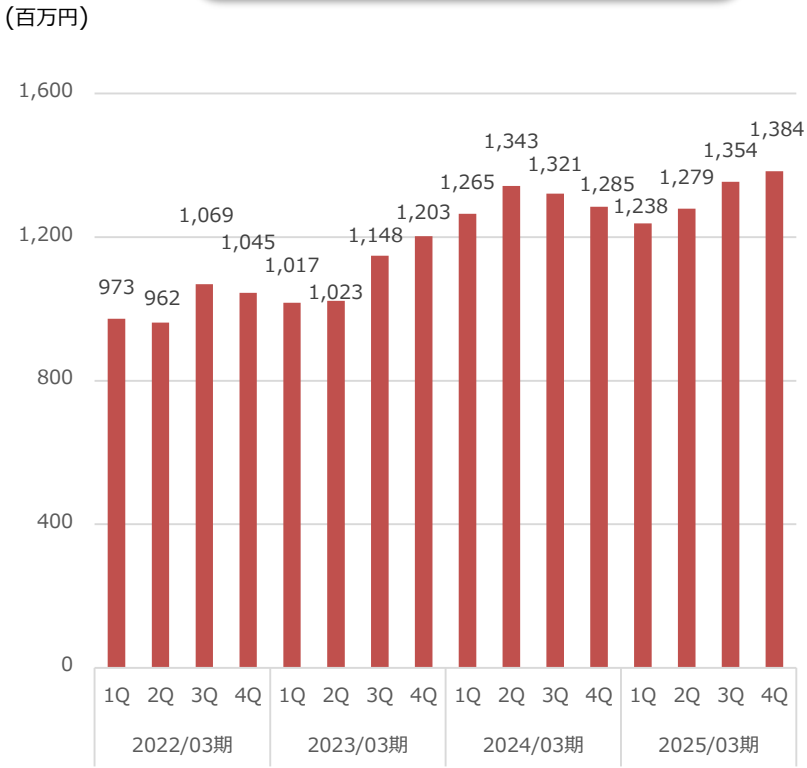


主要製品	用途例	用途説明
■アルミニウム製品  自動車関連部品 ヒートシンク部品	【アルミニウム製品】 ●自動車部品 ●計量器 ●工業計器	●自動車のLEDライトは、点灯時の発熱量が大きいので、冷却が重要です。「ヒートシンク部品」を活用いただく事で、放熱が可能となり、LEDライトの耐用年数の向上に貢献しています。
■ダイカスト金型 	【ダイカスト金型】 ●自動車部品用 ●民生部品用 ●工作機部品用	●ダイカスト法で使用する金型は、鋳造したダイカストを取り出せるように最小で2つの部分より構成されます。一方は固定型、他方は可動型といい、引抜中子等複雑で高精度な型作りが可能です。

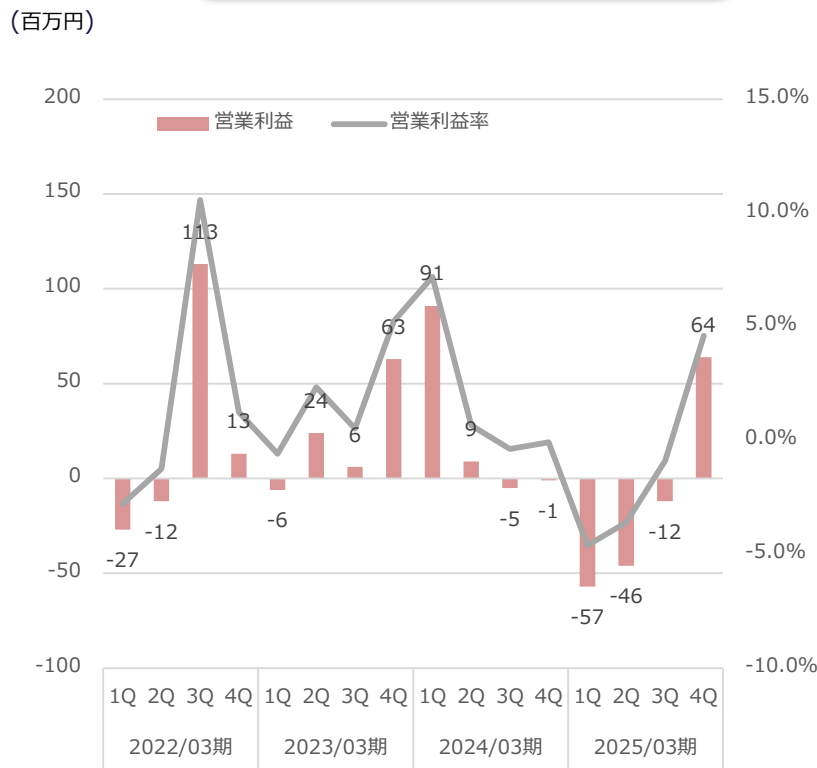
セグメント別業績 ダイカスト

※グラフ値は、四半期毎の売上高・営業利益・営業利益率の推移

売上高



営業利益・営業利益率





ありがとうございました

【お問い合わせ先】

長野計器株式会社 経営企画部

電話 03-3776-5332 (ダイヤルイン)

メール keiei-kikaku@naganokeiki.co.jp

コーポレートサイト

<https://www.naganokeiki.co.jp/>

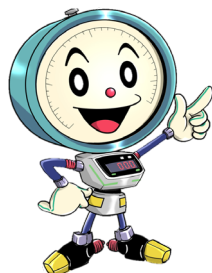
IR情報 <https://www.naganokeiki.co.jp/ir/>

長野計器グループの生産・販売拠点



 長野計器

 長野計器



注意事項

本資料で記述されている業績ならびに将来予測は現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的风险や不確実性が含まれます。

従いまして、さまざまな情勢変化により、当社予測と異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。